



【評】関係なさそうな3枚の写真を組み合わせることで、独特な世界観を作り上げた。想像が広がる表現で、作者の豊かなアイデア、センスが光る。

優秀賞

彷徨いてなお

長里

利寛さん(67)

鹿児島市西陵8丁目



普遍の気持ち写す

ノスタルジックな廃校の校舎から、誰もが心の中で持ち続ける懐かしい記憶、

人の普遍的な気持ちの原点を写し取った。写真の加工は普段しないが、初めて3枚目にブラインド模様を施した。「今は廃校となり静かになった母校を、一歩引い

て見つめる感情を表した」今は主宰するアカデミーで撮り方を教えながら、自身も刺激を受ける日々。「今後仲間と共に成長したい」

南日本写真展
鹿児島市立美術
覧料は大学生
高校生以下無料



【評】作者は、ひっそり人生を重ねたのだろう。斜影しており、背景の階段のイメージもある。

花の形をしていて、小さな虫が生きていたりする。自分が納得できる写真を撮っていたい」と、優しい瞳でほほえんだ。

優秀賞

笑顔の春

岩坪千枝子さん(73)

始良市平松

